

製造者概要書

			整理番号 (記入不要)	
1. 製造者の名称・所在地等				
名 称	ニチコンカプシキガイシャ		代表者氏名	ヨシダ シゲオ
	ニチコン株式会社			吉田 茂雄
所 在 地	〒604-0845		電話番号	075-231-8461
	京都市中京区烏丸通御池上る		F A X 番号	075-256-4158
連 絡 者 担 当 者	所属	蓄電システム企画部	電話番号	03-3666-7945
	氏名	スエザワ ユウ	E-Mail	03-3666-7933
末沢 悠				
2. 自主的な行動基準の届出				
公開URL	https://www.nichicon.co.jp/			
3. 施工者への研修及び施工ID発行について				
<p>施工者に対しどのような研修を行なっているか、施工IDをどのように管理しているか具体的にご記入ください。 蓄電池システムについて施工IDを発行していない場合は施工者に対する研修のみ記載すること。</p>				
<p>>施工者に対しどのような研修を行なっているか。</p> <p>内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電システム全体構成・仕様、ラインナップ、付属品、オプション品の説明 蓄電システム基本配線例での電力の流れ解説 施工方法概要（工事説明書のポイントに則って、補足説明）/施工をビデオの視聴 施工時の注意点(環境条件も含む)、エラー発生時の対処方法 設置完了時の報告書作成依頼の説明、施工トラブル時のサポート体制のご紹介 本研修受講により、閲覧可能となる弊社ホームページ「施工店様専用サイト」蓄電システム技術情報のご紹介、蓄電システムに接続する太陽光接続計算ツールの使い方説明、各種機器を併設した場合の配線例の紹介 当日の施工研修の纏めとして、研修内容の理解度テストの実施 				

- ・一講座、約 3 時間コース

> 施工 ID をどのように管理しているか具体的に記入ください

- ・弊社、蓄電システムは、構造的に、パワーコンディショナと蓄電池が一体型になっている「一体型」とパワーコンディショナと蓄電池が分かれている「セパレート型」があり、それぞれ施工方法に特長がある為、施工 ID を 2 種類に分けている
- ・施工 ID の管理は、弊社専用の WEB サイト上で、施工 ID 番号、取得者氏名、所属会社、有効期限、連絡先等々を、社内で権限を与えられた者が、厳粛に一元管理を行っている
- ・弊社では、施工 ID 取得者のみ施工を行なう事が出来る為、施工中/施工後の弊社サービスセンターからの電話サポートに対しても、施工 ID 取得者情報の確認を行えるようになっている

4. 施工者への指導及び助言 施工者に対し、設計、施工及び維持保全に係る事項について行なっている助言及び指導を具体的にご記入ください。 ・ 施工時には、基本、工事説明書に則り、設置に関する注意事項、各機器の離隔距離、各種配線材、施工手順等々に遵守して実施頂くようご依頼 ・ 蓄電システム設置完了後は、「設置完了報告書」をニチコン/サービスセンターに提出をご依頼 ※ 「設置完了報告書」を作成にあたり、各種配線の電氣的チェック、各機器との離隔距離、最終確認の状況等々、項目順に実施頂く事により、実際には最終点検チェックシート の代用にもなる旨のご説明 ※ 具体的に「設置完了報告書」のチェック項目で、未然に防げる施工不具合事例のご紹介			
5. 府民に対する設置及び登録施工店に関する問い合わせ又は相談窓口			
所在地	〒604-0845 京都市中京区烏丸通御池上る 電源センター 家庭用蓄電システム	電話番号	0120-215-086
		FAX番号	
		E-Mail	Info-ess@nichicon.com
6. 府民に対する維持保全に係る窓口			
所在地	〒604-0845 京都市中京区烏丸通御池上る	電話番号	03-5251-9211
		FAX番号	03-5211-2153
		E-Mail	

7. その他

独自の取組み等府民にアピールしたい内容をご自由にご記入ください。

当社は 2012 年に家庭用蓄電システム JET 認証第 1 号を取得し、業界に先駆けて市場投入して以来、家庭用蓄電システムの累計販売台数が 12 万台 (2022 年 9 月末) を超えています。

電池容量は 2.0kWh から 16.6kWh までの幅広い容量ラインナップに加えて、タイプ別ではトライブリッド蓄電システム、ハイブリッド蓄電システム、単機能蓄電システム、ポータブル蓄電システムと業界随一の品揃えでお客様のどのニーズにも合うように商品を展開してきました。

トライブリッド蓄電システムは、太陽電池、蓄電池、EV 電池の 3 つの電池をすべてコントロールし、太陽光発電を最大限活用できるシステムとなっており、2022 年 4 月に発売した新型トライブリッド蓄電システム ESS-T3 シリーズは、月 2,000 台を超える大ヒット商品となっております。

このように再生可能エネルギーである太陽光発電のさらなる活用に必要な蓄電システムでビジネスの拡充に取り組んでいます。蓄電システムと EV 関連機器の技術を持つ当社の強みを活かして、価値ある製品を創造し、環境社会へ貢献できる新製品の開発や販売活動を進めてまいります。

※太陽光発電システム登録製造者が蓄電池システム登録製造者の申請をする場合は、追加及び変更箇所のみ記載すること。